

はる

Vol. **100** 2016. 1 (隔月刊)

社会福祉法人 一心福祉会

<http://www.isshinfukushikai.or.jp/>



2016年の幕あけ 東太陽 (あがりていーだ)
撮影者：池原 浩幸 (東村・平良)



平成 28 年度開校する大宜味中学校と小学校

村の学校が生まれ変わる

活気のある学び舎に

新しい年、大宜味村は四小
学校が廃校となり、一つの小
学校に統合される。同時に中
学校も移転となる。新しい小
学校と中学校は、埋立地「結
の浜」に建築中だ。

既設小学校の廃止、新設校
への統合は過疎化が進み、急
速に児童生徒が減少した結果
として、その現実を受け止め
ざるを得ないが、多くの村民
にとっては一抹の寂しさも禁
じ得ない現実であろう。

ここ十年ばかりの経過を見
ても、四小学校とも入学児童
は数名と半減し、教育上も
多々不都合が生じているとの
事それぞれ百年以上の歴史を
刻んだ小学校が無くなること
は村にとって、時の移ろいを
強く印象づける「事件」に違
いないが、当の児童生徒に
とって、統合の新設校がより
活気のある学び舎になること
を願うばかりである。

本誌では、四号にわたり四
小学校の写真を掲載してきま
した(八面)。消え行くこと
への惜別の念をこめての連載
でした。

(N)

社会福祉法人 一心福祉会



今年も当法人へのご指導・ご協力をお願ひ致します。

- | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|---------|---------|---------|---------|------|-----|
| 監事 | 監事 | 評議員 | 理事(評議員) | 理事(評議員) | 理事(評議員) | 理事(評議員) | 常务理事 | 理事長 |
| 緑間 | 東 | 新里 | 島袋 | 金城 | 屋良 | 山城 | 平良 | 宮城 | 山口 | 大嶺 | 平良 | 平良 | 平良 | 仲本 |
| 優 | 宏明 | 吉弘 | 徳和 | 英子 | 朝之 | 豊 | 文子 | 光江 | 栄三 | 文夫 | 森雄 | 頼夫 | 長利 | 一夫 |

現場レポート③

サービスの向上を目指して!!

研究大会報告

やんばるの家

小春日和に恵まれた十一月二十一日に沖縄県老人福祉施設職員研究大会が開催されました。私達やんばるの家は第一分科会で研究発表を担当する事になり、今年度より新たな委員会（モチベーション向上委員会）が設立され発表に向けた取り組みが開始されました。委員会では「利用者、職員のモチベーションアップ」を目標に掲げ、「サービス向上・業務の効率化を目指し、五月より月二回会議を持ち現段階での問題点、課題を話し合い業務の改善に取り組んできました。改善の過程として課題、問題点の分析・内容を検討・改善・結果・活動の効果と考察まで行いました。

- 課題として
- ① 利用者とのコミュニケーションを取る時間が少ない。
 - ② PC入力での時間の短縮・二重業務の一元化
 - ③ ヒヤリ、ハットの減少・特に剥離予防



真剣に話し合う委員会

改善案として大幅な日課の見直しを行い実施しました。当初は思う様な成果は無く、その都度、問題点、課題を話し合い修正を行い、目標に近づけていきました。思う様な結果が出ない事例もありましたが、これまで職員は利用者の為に一歩踏み込んだ業務改善、見直しをするという意識が弱く、研究発表を通して職員として施設としても業務改善を行いサービスの向上を目指す大切さを再認識しました。今後も今回の取組の成果を踏まえ、どのような取り組みを行えばよりよい環境作りが出来るか話し合い、実施して行きたいと思えます。

奥原 尚輝

施設内研修

手洗いをしっかりしましょう!!



施設内研修 手洗い・うがいが大切です

栄養&保健指導

えすの里

体調が崩れやすく、インフルエンザ等の感染症が蔓延する時期に合わせて、施設の栄養士と看護師による栄養・保健指導が行われました。

栄養士からは三大栄養素の種類毎にどんな食べ物があるか説明し、それぞれの栄養素の働きを分かりやすく説明してもらい、看護師からはインフルエンザ等の感染症予防についての説明を行い、特に手洗いやうがいの大切さについて指導してもらいました。利用者さんからの質問も相次ぎ興味をもって栄養・保健指導に参加していました。

感染対策研修会

やんばるの家

ノロウイルス胃腸炎対策について十二月七日（火）沖縄県立北部病院医療安全管理部感染管理認定看護師の島袋あや子氏を講師に招き研修会を実施しました。手洗いの前と手洗い後に検査機器で確認すると手洗い前より、手洗いの後は細菌が大きく減少しているのを確認し、こまめな手洗いがいかに重要かを再認識しました。介護職員を主体に二十八名の参加者が、三グループに別れて模擬体験も行いました。今後とも定期的に研修を行い、感染予防に努めていきます。



手洗いの大切さを再確認



一年の想い出を語り合う!



(一心療護園)

今年最後の大きなイベントである忘年会が法人各事業所で盛大に開催されました。多くのご家族の皆さまの参加もあり、良い交流の場となりました。



(やんばるの家)



(えすの里)



(ディサービス)



(小規模 いっしん)



(小規模 あがり)



「やんばるの歌の仲間たち」の皆様

十一月十七日(火)に、やんばるの歌の仲間たち〜カラオケ同好会慰問がありました。とても素敵な歌声と衣装に皆酔いしれ、大好評の慰問公演となりました。
またのお越しを利用者・職員一同楽しみにしております。





証言者のひとり、新城ハナさんも出席されました。(105才)

しまくとぅばで

語る戦世

— 大宜味編 —

インタビュー記録上映会 in やんばるの家

やんばるの家にて、十一月十九日に、「しまくとぅばで語る戦世」と題し、上映会を行いました。今回の上映は写真家、比嘉豊光氏（琉球弧を記録する会）の好意により開催できました。

大宜味村編として、約百名の証言の収録から、今回は十一名が登場し、明治（五名）、大正（五名）、昭和（一名）生まれの方が約五分と限られた時間で各々のしまくとぅばで戦世の言葉に表せない悲惨さを熱く証言してくれました。

証言者、三名（百五歳一名含む）の方も会場に参加しました。

会場には、ホーム、デイ利用者様、関係者家族、地域の皆さん含め、多くの方が観覧しました。しまくとぅばで語られる事に触れる機会も少なく、沖縄戦の記憶に接し、一



反戦を熱く語る、宮里恵美子さん（90才）



鑑賞を終えて思いを語る、新城繁正さん（84才）



人生はたった一度と言われますが、その人の歩んだ人生は唯一のもの。その貴重な体験を「私のヒストリー」（ライフヒストリー）と題してご紹介する企画です。

やんばる船へ木材切り出し

東村高江 比嘉憲祝さん（89才）ディサービス利用者

時間余りの上映でしたが、戦争の悲惨さを痛感しましたが、職員の中にはしまくとぅばが理解しづらい世代が多いが、雰囲気の内容を感じ、しまくとぅばへの理解と「聞く」話す」が出来る事への挑戦も必要と感じていました。

私が二十五、六歳ぐらいの時、山原船は六隻ぐらい来ていました。私達は山から木を切り出して山原船に載せていました。天気によって船は来ますから、来るときはいっぺんに来て大変でした。西銘、長嶺、テツ、ヨシという方々が船を持っていました。農協も船を持っていました。木材は買い取る人が各船にいました。山から木を切り出してきたらその日でお金が入っていました。お金は貯めて、運搬用の馬を買ったり、家畜の豚を買ったりしていました。当時は税金などがないからお金より品物が必要でした。やんばるの船に木材を載せて与那原まで持って行き、こちらへ来るときは食料品や日用品を積んで来ていました。主には食べものです。米、芋、みそ、しょうゆ、などです。砂糖は樽にはいっていましたが。買った豚は木材を買い取る人が買って与那原の市場に持っていくのを分けて貰っていたのでお金を出して買うという事は無かったです。

困ったのは天気が悪く船が来ない時です。ですから夏場の台風後に船が入ってくる時はうれしかったです。船が入ってくる時は船の主がホラを吹いて合図をしています。自分が利用している船のホラの音はすぐわかりました。それを聞いたときは何とも言えなかつたです。船に荷物を積み込んで送り出したら皆でソーメンイリチャー（そうめん炒め）してウタイナオシ（慰労会）をしていました。

私が三〇代になる頃、軍が道を開けてからは陸上から物資は運搬するようになりました。今、高江共同店があるところに製材所ができました。私は山から切り出した木を今度船ではなく、製材所に運んでいました。製材所ができたところからそれまでの茅葺屋根から瓦屋根の家にかわっていききました。田嘉里や安波、宮城から大工が来て家を建ててくれました。その頃に自分で切り出した木で我が家を建てました。

そういう時代でした。聞き書き文責・安里 美紀



昭和 29 年頃 林業に従事する人々（東村教育委員会より提供）



えすの里

十一月二十八日にうるま市民芸術劇場にてY.O.U・I(ゆい)フェスティバルが行われました。

今年の全体のテーマは「四季」という事で、えすの里は「冬」をテーマにクマムシの「あったかいんだからあ〜」のダンスと「きよしこの夜」のハンドベルを披露する事になりました。

少しテンポの早い曲と久々に挑戦するハンドベルという事で二ヶ月前から練習を開始し、初めはリズムに合わせて体を動かしたり曲を覚えるのに苦労しましたが、練習していくうちに自然と楽しみながら取り組む事ができました。

本番が近づくと緊張し前日のリハーサルでは思うように出来ず、本番は上手くいくのか不安も募りましたが、本番では笑顔で思いつきり楽



本番でこの動き！さすがです♪



会場に綺麗な音色が響きました

しみながら発表する利用者さんの姿！さすがの一言です。長期の取組みで大変な時期もありましたが、利用者さんと一緒に楽しみながら、充実した時間を過ごす事ができました。

山城 結希



最後に全員で津波小学校ダンスを踊る

十一月十二日、いっしんでは外の広場で津波小学校との交流会を行いました。

子供達が素晴らしく、迫力あるエイサー、ダンスを披露してくれ、最後に利用者も一緒に津波小学校の校歌ダンスを踊りました。素晴らしい演技に利用者 職員まで感動しました。通りすがりの人達まで車を止め演技に見入っていました。ある利用者は「保育園の頃から知っている子が居る、こんなに大きくなって」と再会出来た事

小規模 いっしん

津波小学校との最後の交流会

とても喜んでいました。利用者代表挨拶では、元教員の平良トミさん(九十三歳)が子供達に向け素晴らしい挨拶をしてくれました。とても楽しく又、感動のある交流会でした。今年で閉校になる為今回で最後となった交流会でした。

いっしんの側を子供達が通学する姿が見られなくなるのが淋しいですが、何かの形で又、交流ができたらと思います。

仲間 沙希

東村福祉祭り展示

デイサービス

私たちはデイサービスで行った手工芸の一年間の記録を東村健康と福祉祭りで展示しました。今回の展示品の内容は毛糸モップ、折り紙と松ぼっくりで作ったひまわり、トイレトペーパーの芯を利用した飾りなど数多く出品しました。



宮城 さやか

毛糸モップはハンガーに毛糸を通す作業や折り紙では片手で毛糸や折り紙をおさえ、もう片方は毛糸を通したり折り紙を折ったりとどちらも両手を使う作業なので、手のリハビリに加え、頭の体操にもなりました。利用者の方々は初めは「こんなの難しいよー」や「手がつかれる。目が痛くなる。」とみなさんおっしゃっていましたが、時間が経つにつれスピードも速くなり、逆に利用者からは「まだできるけど、もつとないね。」などと積極的に取り組むようになりました。今回、東村での展示は終了しましたが一月に大宜味村での大宜味展にも出品予定などで都合のつく方は是非利用者の心のこもった作品を観に来て下さい。

東中学校あがりへ 訪問学習

小規模 あがり

十一月十九日、東中学校一
年生十三名の生徒のみなさん
が福祉施設訪問学習を目的に
小規模多機能ホームあがりへ
訪問がありました。

十三名の生徒のみなさんは
玄関を入ると「こんにちは、
今日一日宜しくお願いま
す」元気な声で挨拶すると、
お年寄りも表情が柔らかくな
り子供達を迎えていました。
挨拶が終わると場所を移動
し小規模多機能ホームの説明
を行いました。二十四時間、
三百六十五日の安心をお届け
し安心した生活が送れる様に
支援していますと説明をする
と、看護師を志していると言
う生徒から「あがりでは看護
師さんはどんな事をしている
んですか？」また、ある生徒
は「なぜ、この仕事に就いた
のですか？」等の質問があり
仕事への関心を示していまし
た。

講義が終わると午後の日課
である転倒予防体操を生徒と
利用者さんが一緒に歌に
合わせて盛り上がりました。



手作りケーキでおやつタイム

川田出身の利用者さんから
生徒のみなさんへ「東村は偉
い人が沢山いてるのでみな
さんも、一生懸命勉強して偉
い人になりなさいよ」と
エールを送る場面も見られま
した。

施設内も窓ガラスの拭き掃
除してもらい利用者からは
「子供達が綺麗にくれて
…」と、とても喜んでいまし
た。

最後に施設訪問学習を通し
て生徒のみなさんが福祉に関
心を持ち将来、一人でも多く
の生徒が福祉の仕事に就く事
を期待しています。

平良 芳美

スポーツの秋 満喫!

一心療護園

十一月三日(日)にご家族
をお招きして、一心療護園中
庭にて、家族ふれあいレクを



一番の盛り上がりを見せたチーム対抗リレーより



ご家族とバーベQに舌鼓ました♪

開催し、スポーツを通して交
流しました。
爽やかな秋空の下、ご家族
と一緒に汗を流し、美味しい
バーベQに舌鼓楽しい交流の
場となりました。

季節を感じる 作業が ここにある

えすの里

季節の変わり目を感じる
頃、就労センターえすの里で
はこの時期の風物詩、ローゼ
ル収穫と門松作りが始まりま
す。

今年は台風の被害も少なく
ローゼルも順調に収穫でき利
用者さんが収穫や加工準備作
業に日々取り組み、現在就労
センター直売店にて「ロー
ゼルティー」を絶賛販売中
です♪

えすの里の冬の一大イベン
ト「門松」も十一月から準備
がスタートし十二月からは作
業が本格化しています。今年
もお客様に満足して頂ける門
松がお届け出来る様に職員・



一つ一つ丁寧に仕上げます



ローゼルの実をカットしている様子

利用者一同、真心込めて製作
しています。
宮城 武尚



一心療護園

共走・共汗・共生を目指して
カいっぱい走りぬけ!!

ぎのわん車いすマラソン大会



見事3位入賞 おめでとうございます。

喜久川 博美さん

忘年会 トピックス ボランティア紹介

ディサービス



ゆりていく会（3名）とデイ職員の三線演奏



塩屋婦人会大いに盛り上げて下さいました



ゆんたくサロンの皆様、楽しく舞って下さいました

～喜如嘉小学校の校歌～

大宜味村の小学校は、平成28年度から1校（結の浜に建築中）に統合され、現4校は閉校される。

校歌

詩山城善光
曲兼村寛俊

一、狭間が黎明の
空澄みて
映えゆけば
風そよぎ
喜如嘉校

二、苦難に克ちて
拓きたる
学舎は
秘めて建つ
喜如嘉校

三、嗚呼光栄を
受継ぎて
光浴び
いそしめば
喜如嘉校

四、いで堂雪の
若き日を
共に取り
励み合い
明日は築立たん
四方の山
栄光 永久に
喜如嘉校

—平成 28 年 3 月末で閉校—